

日本史Bシラバス

沖縄県立読谷高等学校

1. 学習到達目標等

教科名【地歴】 科目名【日本史B】
 使用教科書【山川出版社 改訂版詳説日本史】
 副読本【浜島書店 新詳日本史】

1. 日本史に関する興味関心を高め、自国の文化と伝統についての認識を深めさせる
2. 日本史を世界的視野に立って理解させ、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う
3. 主題学習を通して、客観的かつ公正な史料により適正な歴史認識を育成する

2. 学習計画

科目名・日本史B			単位数・・2	学科・学年:普通科・2年(選択)	備考	
学期	月	時数	学習内容	学習のねらい・目標		
1 学期	4	6	第1章 日本文化のあけぼの	・オリエンテーション ・文化のはじまり ・農耕社会の成立	○日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえさせる ○水稻農耕の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解させる ○小国の形成から邪馬台国などの小国連合について、国内外の情勢を踏まえて多角的にとらえさせる	・古代東アジア世界については、世界史との連携を図る ・隋・唐及び朝鮮・渤海などの東アジア諸国については、世界史との連携を図る
	5	7	第2章 ・律令国家の形成	・古墳とヤマト政権 ・飛鳥の朝廷	○古墳の変容からヤマト政権の政治勢力を理解させる ○大陸文化の受容を踏まえ、ヤマト政権の成立についてとらえさせる ○ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察させる	
	6	7		・律令国家の成立 ・平城京の時代	○律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程についてとらえさせる ○律令に基づく国内統治体制について理解させる ○律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的に捉えさせる。○平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察させる。	
	7	7		・天平文化 ・平安朝廷の形成	○天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解させる ○平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方政治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察させる。 ○東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解させる	
2 学期	9	7	第3章 ・貴族政治と国風文化	・摂関政治 ・国風文化	○藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる ○大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解させる	・仏教については倫理との連携をはかる。 古代文学については古典との連携をはかる。
	10	7		・地方政治の展開と武士 ・院政と平氏の台頭	○律令制に基づく地方政治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園拡大をもたらした経過を考察させる。○地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、現時などを例にとって考察させる ○院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解させる。 ○政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察させる	
	11	7	第4章 ・中世社会の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会	○鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解させる ○承久の乱に伴う公家関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察させる。 ○武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察させる	
	12	7		・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解させる ○庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解させる	
3 学期	1	7	第5章 ・武家社会の成長	・室町幕府の成立	○南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察させる ○琉球・蝦夷を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解させる	・鎌倉仏教については倫理との連携をはかる。
	2	6		・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化	○庶民や武士の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下克上の風潮を口出させる ○諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解させる ○武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化の関わりについて理解させる ○庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とし多文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。	
	3	2		・戦国大名の登場	○応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察させる	

3. 評価方法

- ①: 中間期末テスト・授業・課題プリントの取り組み状況、授業に対する意欲などを総合的に判断し、評価する
- ②: 年間の学習状況の評価は、各学期のテスト・授業・課題プリント・授業への意欲・態度等を総合的に判断して評価する